

「美味しいひと口」で北海道の魅力を発信！
札幌・豊平区の「旬」と、留萌の「技」を融合した
『とよひら あっ！ぷれぱい』 10月14日より販売開始

報道関係各位

2026(令和8)年10月6日

株式会社札幌ドーム
(札幌ドーム指定管理者)

株式会社札幌ドームは、株式会社Harapeco（本社：北海道札幌市）と協働で、北海道の食材を使用し、北海道内の老舗菓子店とのコラボスイーツや“押しメニュー”を開発・発掘＆プロデュースする「北海道スイーツ×プレミストドーム はらぺこ応援プロジェクト」に取り組んでおります。

このたび、昨年10月に販売開始した「プレミアムあんバターどらやき（通称：ぷれどら）」に続き、第2弾の「とよひら あっ！ぷれぱい（通称：ぷれぱい）」が完成いたしました。本商品は、札幌市豊平区で収穫されたばかりの瑞々しいりんごの美味しさを、留萌の職人が丁寧に焼き上げた逸品です。発売初日となる10月14日(水)開催の「第79回秋季北海道高等学校野球大会 準決勝」では、第一学院高等学校の生徒たちに販売協力していただき、ドームから北海道の魅力を発信します。

商品の概要

商品名	とよひら あっ！ぷれぱい (通称：ぷれぱい)
価格	600円(税込)
商品の 特長	<p>【素材】地元豊平区で育まれたりんご 主役は、ドームと同じ豊平区内の「八紘学園」にて収穫されたりんご。同園内で採蜜された「はちみつ」も使用。</p> <p>【製造】留萌の老舗「ルモンド」 製造を担うのは、留萌市で長年愛される洋菓子店「ルモンド」。素材の持ち味を大切にしながら、ひとつひとつ丁寧に菓子づくりを続けている老舗です。</p> <p>【味わい】りんご本来の美味しさを大切に アップルパイに一般的によく使われるシナモンやレモンを使用せず、りんご本来の香りや甘み、ほどよい酸味を楽しめるフィリングを、256層ものパイで丁寧に焼き上げました。</p>
販売 予定数	限定 約3,000個 八紘学園で収穫されたりんごのみを使用するため期間・数量限定販売の予定です。



販売概要などは次のページへ

販売について

販売予定日	■2026年10月14日(水) 第79回秋季北海道高等学校野球大会 準決勝 ※専用ワゴンを出店
	■2026年10月17日(土) 2026/27 明治安田J2リーグ 第11節 北海道コンサドーレ札幌vsブラウブリッツ秋田 ※専用ワゴンを出店 ※一部の場内飲食売店でも取り扱い予定
	■イベントの無い日も、北ゲート3横「総合案内」での販売を予定
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催日のご購入には、各イベントの入場チケットが必要となります。 ・各日の販売数には限りがございます。売り切れの際はご容赦ください。 ・お支払いは、一部店舗を除き、現金のみとなります。 ・販売予定日および販売場所は予告なく変更になる場合がございます。

<第一学院高等学校の生徒による販売協力について>

通信制高校である第一学院高等学校では「就業体験」をする授業を実施しており、その一環として本商品に使用するりんごの収穫にご協力いただいたほか、10月14日・17日には、専用ワゴンによる販売体験も予定しております。



豊平りんごについて

明治6年(1873年)に東京から開拓使の官園に苗木が送られ、明治8年(1875年)ごろに開拓使本庁内にあった果樹園から平岸に苗木が配られたことから、豊平区でのりんご栽培が始まったと言われています。(引用：広報さっぽろ豊平区版『豊平のあゆみ』(2022年発行))

「とよひら あっ! ぷれぱい (通称：ぷれぱい)」は大和ハウス プレミストドームの“地元”である豊平区で収穫されたりんごのみを使用しております。

「北海道スイーツ×プレミストドーム はらぺこ応援プロジェクト」について

本プロジェクトは、「大和ハウス プレミストドーム」という北海道の象徴的施設を“ショーケース”に見立て、道内各地の魅力的な食材・加工品・事業者を発掘・発信する応援型プラットフォームです。

「日常のひとくちが、誰かの応援になる」——そんな循環を生み出すために、ドームを起点とした“食体験の再編集”を行っていきます。

食の総合プロデュース企業である株式会社Harapecoと、株式会社札幌ドームが協働で進めてまいります。



第2弾コラボ企業「ルモンド」について

夕日のまち、留萌のお菓子屋さん「ルモンド」。

1976年の創業から大切にしてきたのは、地域とお客様を想う「心」です。

父から子へ受け継がれたお菓子づくりへの想いととも、留萌の美しい情景や、この土地ならではの魅力をお菓子里に込めて。

お菓子を通じて、人を笑顔に、まちを元気に。

地域で愛される、人気洋菓子店です。